

研修報告書（研修費）

平成30年8月2日

長久手市議会議員
川合 保生 様

長久手市議会議員 上田 大 ㊞

政務活動費を充てることのできる経費の範囲の運用指針により次のとおり届け出ます。

年 月 日	平成30年7月2日（月）から 平成30年7月2日（月）までの1日
研 修 先	第15回年金総合研究所シンポジウム 『働き方改革と私たちの生活 ～働き方改革が私たちの生活にもたらすもの～』 主催：一般社団法人 年金総合研究所 会場：霞が関ビルディング（東京都） (詳細は別紙)
成 果	(別紙のとおり)
経 費	金 23,120 円（政務活動費対象経費） 金 23,120 円（全体経費）
提 出 資 料	

行程表 (平成30年7月2日)
『働き方改革と私たちの生活～働き方改革が私たちの生活にもたらすもの～』

藤が丘駅 → 名古屋駅 → 東京駅 → 霞ヶ関駅 →
市営地下鉄東山線 JR新幹線 東京メトロ丸ノ内線 徒歩
霞ヶ関ビルディング(千代田区)

日付	項目	行程	金額	備考
7月2日	交通費	東京⇄名古屋	22,180	新幹線(JR東海)
7月2日	交通費	東京⇄霞ヶ関	340	地下鉄(東京メトロ)
7月2日	交通費	名古屋⇄藤が丘	600	地下鉄(名古屋市交通局)
		合計	23,120	

別紙

<p>研修内容</p>	<p>13：35～14：35 講演① 「人生 100 年時代を展望した社会デザインを考える」 木下 賢志 厚生労働省 年金局長</p> <p>14：35～15：35 講演② 「働き方改革と私たちの暮らし」 逢見 直人 日本労働組合総連合会（連合）会長代行</p> <p>15：50～16：50 講演③ 「働き方改革と私たちの生活」 清家 篤 前慶應義塾 塾長 日本私立学校振興・共済事業団 理事長</p>
<p>成 果</p>	<p>「働き方改革」は平成 30 年度通常国会において、最も重要な法案の一つであった。「働き方改革」は単に労働環境の改善や生産性向上の話ではなく、人生 100 年時代の到来、人口減少、少子高齢化、経済の低迷、こうした社会的課題をどのように解決していくのか、そうした視点から、現在の日本における働き方をどのように変えていかなければならないかという議論である。今回のシンポジウムは、前慶應義塾の塾長であり、社会保障制度改革国民会議の会長も務められた清家篤氏が講演されるということであったので、大きな関心をもって臨んだ。</p> <p>上記のように、人生 100 年時代の到来、人口減少、少子高齢化、経済の低迷という社会的課題や構造については、真正面から向き合っていかなければならない。現在の社会保障制度は人生 100 年時代に対応しているだろうか、人口減少の中で経済の活力を維持・向上させていくためには、どのような政策が必要なのだろうか、少子高齢化の課題しかりである。非常に多くの要素が複雑に絡み合っており、スケールの大きな問題であるので一筋縄ではいかないが、あえて平たく一面だけ述べれば、女性や 60 歳以上の方々にもっと働いて下さいということである。人口が減っていくということは、昨日と同じことをやっているだけではマーケットはどんどん縮小していくということである。こうした構造の中で経済の活力を維持・向上させていくための方法、解決策の一つとして労働人口を増やすということが挙げられる。特に女性の活躍である。そうであれば当然、そうした活躍ができる環境を整えなければならない。子どもを産む前から保育所の心配をしなくてはならない社会では話にならないのである。若い世代の所得保障もしかりである。まだまだ書き切れないが、こうした問題は自治体にも大いに関係のある話である。社会構造が大きく変化する中で、自治体はどのように考え、どのように対応していくのか。行政・議会でしっかりと議論をしていかなければならないと考える。</p>